

彼悪分子の自滅する迄は、國家の大事と思召し、暫く御隠忍あつて、  
 我國多数の會社に対し、權威ある手本として明示し、被下度、我れくも  
 半ば労働者の一人以外得共彼等爭議ブローカーたる悪分子共の道連れ  
 には實際開口致し、仰天伏地して奉懇願外、右且釈迦に説明の御依頼  
 には外得共國家多数の人々は悉く此の心に御座矣、聞小生共の誠意に御座  
 矣  
 敬具

六月二日 岡山市青年團有志連

笹子工場長殿

かかる投書来る一方は土生町某醫師の如きは曰く「人間はグイタミンを一日一人  
 五拾銭分採らねばならぬ、それじ家族四人居れば二円、五人居れば二円五十銭を必要  
 とする。家族五人居つて亭主が二円の日給を得るのでは營養不良になるとかゝる  
 言を公開の席上た於て為せる由なるか、グイタミンが一日一人五十銭必要なりや否や  
 吾人は素人なるが故に知らざるも、爭議益々紛糾せる折柄かゝる言を發するは本

爭議を更に紛糾せしむるの虞れなきか。

斯の如く爭議は愈々深刻發症、第議團兒童の林枝声明を以り、前夜暗黙  
 裏面には過激分子の活動甚しきや、嗚呼此たる折柄、余如何に法權の發動となり、午  
 前九時四十分、廣島地方裁判所附部檢察正、同所官童檢察、尾道文部より、  
 小山田檢察外一行入場せられ、社員、職工の供述を聴取せられ、午後四時五分出陣  
 せられたり。

続いて午後二時五分、尾道文部、柳田豫審判事外一名入場せられ、同じく職  
 工の訊問を開始し、午後三時二十五分、出陣せられたり。

此日、反送團長金子、突は尾道檢察局に護送せられたる趣なり。

笹子工場長午後六時十五分、大阪より帰島せられたり。

本日の入場者大差なし。

二十日、一个月余に亘る紛議は、土生、三庄兩所及び尾道の住民に如何なる影響を  
 與へつ、あるか、六月二十日、發行大阪毎日新聞は、真に逆さまを以て之を揭示せん。